

<肺がん検診>

◆市町の評価に関して◆

* 本調査は、平成23年度（調査対象年度は平成21年度）から開始しており、6年目の調査となります。

平成28年2月4日付け厚生労働省局長通知において「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」の一部が改正され、がん検診事業評価のためのチェックリストについても、平成28年に大幅に改定されました。

【調査項目（59項目）】

(1) 検診実施体制整備に関する調査（調査対象年度：平成28年度）

①検診対象者の情報管理、②受診者の情報管理、③受診者への説明、及び要精検者への説明、④精密検査結果の把握、精検未受診者の特定と受診勧奨、⑤地域保健・健康増進事業報告、⑥検診機関（医療機関）の質の担保の27項目

(2) 検診の精度管理把握に関する調査（調査対象年度：平成26年度）

①受診率の推計、②「肺がん検診受診者数中の高危険群割合」、「高危険群中の喀痰容器配布割合」、「喀痰容器配布中の回収率」、「肺がん検診受診者中の喀痰容器回収率」の集計、③要精検率の集計、④精検受診率、未受診率の集計、⑤がん発見率の集計、⑥陽性反応適中度の集計、⑦早期がん割合の集計の32項目

【評価方法】

市町から提出のあった調査項目への回答に基づいて、次の方法で評価しています。

ランク	調査項目	項目数
A	すべて満たしている	59項目 すべて満たしている
B	一部満たしていない	1～8項目 満たしていない
C	相当程度満たしていない	9～16項目 満たしていない
D	大きく逸脱している	17～24項目 満たしていない
E	さらに大きく逸脱している	25～32項目 満たしていない
F	きわめて大きく逸脱している	33項目以上 満たしていない
Z	回答がない	

【評価結果】

*市町別の評価は、下記のとおりです。（詳細な結果は、表1-1、表1-2を参照）

これまでも評価項目がクリアできるように指導し、見直しが行われてきました。C、D評価であった市町については、引き続き遵守できるよう改善を依頼していきます。

平成28年度 肺がん検診精度管理調査結果

	市町名	評価		備考
		集団	個別	
1	金沢市	C	B	
2	七尾市	B		
3	小松市	B		
4	輪島市	B		
5	珠洲市	B		
6	加賀市	B		
7	羽咋市	B		
8	かほく市	B	D	
9	白山市	B		
10	能美市	B		
11	野々市市	B	C	
12	川北町	C		
13	津幡町	C	B	
14	内灘町	B	B	
15	志賀町	B		
16	宝達志水町	C		
17	中能登町	B		
18	穴水町	B		
19	能登町	B	C	
	計	19	6	

評価	集団 (市町数)	個別 (市町数)
A	0	0
B	15	3
C	4	2
D	0	1
E	0	0

評価基準
A:「基準」をすべて満たしている
B:「基準」を一部満たしていない(1~8項目満たしていない)
C:「基準」を相当程度満たしていない(9~16項目満たしていない)
D:「基準」を大きく逸脱している(17~24項目満たしていない)
E:「基準」をさらに大きく逸脱している(25~32項目満たしていない)
F:「基準」から極めて大きく逸脱している(33項目以上満たしていない)
Z:回答がない

【肺がん検診精度5指標】（詳細な結果は、表2を参照）

a. 「受診率」

肺がん検診の対象者（算出方法は市町によって異なる）のうち受診された方の割合です。高いことが望ましいとされています。市町によって差が見られ、もっとも高い市町と低い市町では30%以上の差がありました。

b. 「要精検率」

受診された方のうち精密検査が必要とされた方の割合で、許容値は3%以下（受診者100人中、要精検が3人以下）とされています。許容値を超えたのは、能登町（個別検診）でした。

c. 「精検受診率」

「要精密検査」とされた方のうち、実際に精密検査を受けられた方の割合で、精度評価の最も重要な指標と位置付けられています。高いことが望ましい値で、目標値は90%以上、許容値は70%以上とされています。許容値を下回ったのは珠洲市、能登町（集団検診）でした。

d. 「肺がん発見率」

受診された方のうち肺がんが発見された方の割合で、基本的に高ければ高い方が望ましい指標です。許容値は0.03%以上とされています。規模が小さい市町の場合その年ごとの増減が大きくなるため、5年間の平均で算出してあります。

許容値を下回ったのは、金沢市（集団検診）、珠洲市でした。

e. 「陽性反応適中度」

検診で「要精密検査」とされた方のうち、実際に肺がんがあった方の割合で、許容値は1.3%以上とされています。規模が小さい市町の場合その年ごとの増減が大きくなるため、5年間の平均で算出してあります。

許容値を下回ったのは、珠洲市でした。

※「精検受診率」は許容値を下回るとは良くないとされていますが、それ以外の指標は、人口構成による違いや継続受診者の比率、喫煙者の比率などによっても大きな影響を受けるため、下回れば必ず問題があるとは言えません。また、「肺がん発見率」「陽性反応適中度」は、小さな自治体では年度による変動が大きいとされています。